

情報ビジネス コミュニケーション学科 1 年次

授業案内（シラバス）

情報ビジネス コミュニケーション学科

1 年次
(日越通訳・翻訳コース)

授業案内 (シラバス)

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 共通科目授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
中国語入門	1・2年次	4	李	火曜日・3時間目

概要

本授業は、中国語の正しい発音、簡単な会話、基本文法を習得することを目的とする。まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で基礎文法を学び、会話練習や作文などを平行して行うことを通じて中国語の基礎を築く。

到達目標

中国語の発音、そして中国語の基礎文法と簡単な会話の習得を目標とします。

受講要件

なし

評価方法

期末試験の成績を60%とし、普段の小テストの成績や授業の態度を40%として、総合評価する。

テキスト

「中国語はじめの一步」
白水社

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 中国語について・声調・単母音	1 第6課 「動作の完了」「所在」・助動詞「想」
2 複合母音・音の比較・練習	2 トレーニング・練習問題だど
3 鼻母音・音の比較・練習	3 第7課 介詞・「存在」表現・反復疑問文
4 第1課 “是”の文・人称代名詞	4 トレーニング・練習問題だど
5 トレーニング・練習問題など	5 第8課 「時間量」・助動詞「得」介詞「从」
6 第2課 疑問詞疑問文・“的”の用法・副詞	6 トレーニング・練習問題だど
7 トレーニング・練習問題だど	7 中間テスト
8 第3課 動詞の文・「所有」を表す文だど	8 第9課 「過去の経験」・「是～的」の文
9 トレーニング・練習問題だど	9 トレーニング・練習問題だど
10 第4課 形容詞の文・量詞・指示代名詞	10 第10課 助動詞“能”“会”・「動作の様態」
11 トレーニング・練習問題だど	11 トレーニング・練習問題だど
12 第5課 日付・時刻表す語・数字	12 第11課 「動作の進行」・選択疑問文
13 トレーニング・練習問題だど	13 トレーニング・練習問題だど
14 前期期末テスト	14 後期期末テスト
15 追試予備日	15 追試予備日

教員紹介

大学院修士課程修了後、東京外語専門学校とJALアカデミーの中国語講師として経験を積む。現在は本校とほかの大学の教師として活躍中。実務経験に基づいて、中国語の授業を展開する。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳基礎1	1年次	4	ズン	月曜・2時間目(Dクラス) 金曜・1時間目(Eクラス) 金曜・2時間目(Fクラス)

概要

ベトナム語から日本語、日本語からベトナム語の翻訳

1. 文の翻訳
2. 段落の翻訳

到達目標

1. ベトナム語の文を正しくて、自然に日本語に翻訳できること。
2. 日本語の文を正しくて、自然にベトナム語に翻訳できること。
3. 上記の1・2をうまく書いたり、話したりできること。

受講要件

1. ベトナム人日本語学習者
2. 『みんなの日本語』Ⅰと『みんなの日本語』Ⅱを習得した学習者

評価方法

筆記試験(総合)
時間:50分

テキスト

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 越日 文15 P1	1 越日 文15 P8
2 日越 小学校の先生	2 日越 ビアガーデン
3 越日 文15 P2	3 越日 文15 P9
4 日越 携帯電話	4 日越 パリ
5 越日文15 P3	5 練習
6 日越 双子の姉妹	6 越日 文15 P10
7 越日文15 P4	7 日越 私の国の社会問題
8 日越 地震	8 越日 文15 P11
9 越日文15 P5	9 日越 私の国のお正月
10 日越 アメリカにいる友達	10 練習
11 越日文15 P6	11 越日 文15 P12
12 日越 東京大学の学生	12 日越 シンガポール
13 越日文15 P7	13 越日 文15 P13
14 日越 ゆりさんの家	14 日越 ベトナムへ行こう、ベトナムに行く前に
15 期末試験	15 期末試験

教員紹介

グエン・ティ・フォン・ズン

応用言語学専攻 修士号(日本語教育)／日本語教育の経験:12年／応用言語学研究科 博士後期課程 2年

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳基礎2	1年次	4	荒木	Dクラス:木曜日・2時間目 Eクラス:木曜日・3時間目 Fクラス:木曜日・1時間目

概要

N3レベルの語彙力・文法力・読解力・作文力を復習しながらN2レベルへの向上を図り、正確に日本語からベトナム語に、ベトナム語から日本語に翻訳することを学習する。

到達目標

N2レベルの語彙力・文法力・読解力・作文力を運用して、正確に翻訳できるようにする。

受講要件

N3合格レベル

評価方法

定期試験、宿題提出、出席状況、授業態度

テキスト

オリジナル教材

参考書

・「留学生のための時代を読み解く上級日本語」スリーエーネットワーク
・「朝日新聞」ほか

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	オリエンテーション	1 5 1 5	調べ学習「ベトナムについて」(1)
	自己紹介		調べ学習「ベトナムについて」(2)
	スピーチ「好きな漢字について」		発表「ベトナムについて」グループ①～⑥
	新しい年号は「令和」(1)		外国人労働者を幅広く受け入れ
	新しい年号は「令和」(2)		特定技能1号・2号とは
	2019年日本経済の展望(1)		熱中症にならないために気をつけること(1)
	2019年日本経済の展望(2)		熱中症にならないために気をつけること(2)
	復習		プラスチックごみ減らそう(1)
	JLPT対策		プラスチックごみ減らそう(2)
	期末試験		期末試験

教員紹介

ベトナムの医薬大学卒業、日本の大学卒業、日本語学専攻。介護福祉士。
日本語教師、日越越日通訳・翻訳の経験有。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス知識1	1年次	4	三城	Dクラス:水曜日・1時間目 Eクラス:水曜日・2時間目 Fクラス:金曜日・2時間目

概要

卒業後社会人として基本のビジネスマナー及び基礎的なビジネス用実務知識。

到達目標

教科書の内容を理解、実際のビジネス場面を取り入れ理解力を深めさせる。

受講要件

なし

評価方法

100点中期末試験は40点、授業への参加意欲は30点、検定試験結果は30点。

テキスト

ビジネス能力検定ジョブパス 2, 3級及び問題集

参考書

新聞記事、過去実務資料

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 キャリアと仕事へのアプローチ	1 仕事への取り組み方
2 同上	2 同上
3 仕事の基本となる8つの意識	3 ビジネス文書の基本
4 同上	4 同上
5 コミュニケーションとビジネスマナー	5 電話対応
6 同上	6 同上
7 指示の受け方と報告、連絡・相談	7 統計・データの読み方・まとめ方
8 同上	8 同上
9 話し方と聞き方のポイント	9 情報収集とメディアの活用
10 同上	10 同上
11 来客対応と訪問の基本マナー	11 会社を取り巻く環境と経済の基本
12 同上	12 同上
13 会社関係での付き合い	13 ビジネス用語の基本
14 同上	14 同上
15 定期試験	15 定期試験

教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス コミュニケーション I	1年生	4	吉永	Dクラス:水曜日1限目 Eクラス:月曜日2限目 Fクラス:水曜日2限目

概要

前期:敬語の基礎(尊敬語・謙譲語の使われる場面)の学習。ロールプレーを通じてペアで発表することに慣れる。発音(ベトナム人が弱い発音の集中練習。)
後期:スピーチなどのパフォーマンスで人前で話すことに慣れる(個人)。自己PRを考える(自分について知ることの大切さ)。最終的に履歴書が書けるように。

到達目標

丁寧な日本語を使い自分をアピールすることが出来るようになる。(就職試験の準備)

受講要件

N3合格レベル

評価方法

期末試験 50点
ロールプレー評価 40点
授業への参加度(出席率)10点

テキスト

日本語敬語トレーニング(アスク)
Shadowing 日本語を話そう

参考書

就活・仕事の日本語会話(アスク)1日10分のシャドーイング
中級レベルロールプレーで学ぶビジネス日本語

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	* 発音練習 ベトナム人が弱い発音の集中練習	1 5 1 5	* 発音練習 Shadowing 「自己PR」「志望動機」をShadowingを することで意識させる
	* 敬語 テキストを使った講義		* スピーチ
	1課 訪問する		人前で一人で発表することに慣れる
	2課 簡単に挨拶する		「～年後の私」「自己PR」等々
	3課 誘う		スピーチコンテストに向けての準備
	4課 お願いする		* 敬語 テキストを使った講義
	* 各課 ロールプレー・最終目的は		5課 断る
	習った敬語を使った会話		6課 申し出る
	・ペアで発表(原稿なし)		7課 おわびする
	・人前で2人で発表することに慣れる		* 各課ロールプレー発表
	* 定期試験 敬語テキストの筆記試験		* 履歴書の書き方指導
			学歴 職歴 資格 自己PRまで
			* 定期試験 敬語テキストの筆記試験

教員紹介

担当教員は15年間日本航空客室乗務員として勤務した経験があり、退職後は10年間日本航空の外国人客室乗務員を現地(タイ、シンガポール、香港、ドイツ、イギリス)と日本において日本語指導に携わった。また、並行して主に三菱商事の日本駐在員にも10年間に渡りビジネス日本語の指導経験がある。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス会話	1年次	4	池添	Dクラス:火曜日1時間目 Fクラス:火曜日2時間目 Eクラス:火曜日3時間目

概要

- ・職場にふさわしい丁寧な日本語が使えるようになる。
- ・自然なイントネーションを身に付け、スムーズな会話ができるようになる。

到達目標

職場で日本人と日本語を使って仕事ができるようになる。

受講要件

N3合格レベル以上

評価方法

授業参加度・定期試験

テキスト

『人を動かす！実践ビジネス
日本語会話 中級1～2』
スリーエーネットワーク

参考書

適宜、授業中に紹介

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	導入 自己紹介	1 5 1 5	お世話になった人にあいさつをする
	新人を歓迎する		クライアントに提案する
	仕事の引継ぎをする		プロジェクトの打ち上げをする
	取引先を訪問する		トラブルに対応する
	営業報告会に出る		引っ越しについて話し合う
	職場の人とランチに行く		ランチミーティングをする
	人材紹介会社の人と会う約束をする		ビジネスの話を持ちかけられる
	人材紹介会社の人と面談をする		妻に仕事の相談をする
	面接を受ける		ビジネスパートナーと議論する
			総復習

教員紹介

上智大学外国語学部卒業後 本田技研工業(株)にて12年勤務。製造業の要である生産、販売、物流業務に携わる。自らの外国語習得とビジネス経験を踏まえて、より実践的なビジネス日本語を体得できるよう授業を展開していく。

2019年 情報コミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日越ビジネス事情1	1年次	4	昼間	月3時限目 木1時限目 木2時限目

概要

卒業後は日本での就労または母国での日本関係の就職を目標に、日越関係の基本を言葉遣いから学習する。特に、両国人間の円滑なコミュニケーションの方法を習得する。

到達目標

将来的には日越関係における指導者的な立場に立つ人間になるよう、より総合的な認識と判断力を養う。

受講要件

N3程度

テキスト

『コミュニケーション検定 初級』
様々な媒体からコピーする

評価方法

期末試験 授業への積極的な参加(課題提出など)

参考書

『旅の指さし会話帳 ベトナム』
『コミュニケーション検定 上級』

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5	故郷のことを日本語で紹介する1	1 5	増加するベトナム人「労働者」
	故郷のことを日本語で紹介する2		・工業の分野で
	日本人とベトナム人1		・農業の分野で
	日本人とベトナム人2		人事管理の基本
	日本社会とベトナム社会1		・傾聴
	日本社会とベトナム社会2		・情報共有の重要性
	日越ニュースを読む1		・チーム・コミュニケーション
	日越ニュースを読む2		・クレーム対応
	日越ニュースを読む3		問題演習1
	増加するベトナム人観光客		問題演習2

教員紹介

担当教員は、フランスでの留学経験とその間に大新聞の支局での勤務経験を有し、帰国後は大学の非常勤講師や出版社の編集職、また日越バイリンガルのコミュニティ新聞の編集職を務める。七度にわたる渡越経験がある。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス能力 検定対策	1・2年次	4	三城	1年生:木曜日4時間目 2年生:金曜日3時間目

概要

＜ビジネス知識1・2＞で学んだことを復習しつつ、公式試験問題集の問題、および過去の実際の試験問題を数多く解き、ビジネスの関する知識・能力を確かなものとする。その結果、ビジネス能力試験2級、3級に合格できるように指導する。

到達目標

日本能率協会マネジメントセンターが実施するビジネス能力検定2級、3級に合格する。

受講要件

＜ビジネス知識1・2＞を履修していること。

評価方法

授業に参加する姿勢と、ビジネス検定試験の点数によって評価する。

テキスト

ビジネス能力検定2・3級
公式試験問題集

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 平成30年度B検後期試験問題解説	1 平成27年度B検後期試験問題解説
2 同上	2 同上
3 同上	3 同上
4 平成30年度B検前期試験問題解説	4 平成27年度B検前期試験問題解説
5 同上	5 同上
6 同上	6 同上
7 平成29年度B検後期試験問題解説	7 平成26年度B検後期試験問題解説
8 同上	8 同上
9 同上	9 同上
10 平成29年度B検前期試験問題解説	10 平成26年度B検前期試験問題解説
11 同上	11 同上
12 同上	12 同上
13 平成28年度B検後期試験問題解説	13 平成25年度B検後期試験問題解説
14 同上	14 同上
15 定期試験	15 定期試験

教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
情報処理1	1年次	4	谷口	Dクラス:火曜日3時間目 Eクラス:木曜日1時間目 Fクラス:木曜日3時間目

概要

Windowsの基礎知識、タッチタイピング、WordおよびExcelの基礎を学ぶ

到達目標

ワードで簡単な文書作成、エクセルで表、グラフ、集計ができるようにする

受講要件

ローマ字入力できること

評価方法

授業での課題、期末の実技テスト

テキスト

FOM出版 Word2016基礎
Excel2016基礎

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	導入・WindowsおよびWordの基礎知識	1 5 1 5	エクセル基礎知識・データ入力
	ホームポジション・文字入力		表、罫線など
	漢字変換 特殊記号等の入力		SUM、AVE関数
	ビジネス文書		関数と入力方法 絶対参照 相対参照
	案内書作成		シート間集計
	書式設定		集計練習問題
	表作成		印刷方法について
	申込書作成		グラフ
	文書の編集		データベース
	ワードアート		検索・置き換え 総合問題

教員紹介

IT企業でプログラミング、システムエンジニアとして勤務。企業向け新入社員教育や求職者支援プログラムでの職業訓練指導経験有。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
文法・読解 (上級日本語)	1年生	4	宮田	月曜日 1時間目 月曜日 2時間目 月曜日 3時間目 火曜日 2時間目 水曜日 3時間目

概要

文法・読解力を高め、語彙も豊富にする。日本語力を総合的に高めることで、通訳・翻訳の基礎を養う。

到達目標

日本語能力試験N2に要求されている語彙・文法・聴解・読解力を身に付け、試験合格を目指しながら、通訳・翻訳における日本語力を高める。

受講要件

必修

テキスト

『スピードマスター』シリーズ
『N2総まとめ』シリーズ

評価方法

月末テスト及び平常点(授業態度・出席率)で総合的に判。

参考書

『20日で合格—N2』

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 N2語彙 フォーミングアップ1～4回	1 N2語彙 フォーミングアップ1～4回
2 N2語彙 実戦練習UNIT1～16	2 N2語彙 実戦練習UNIT1～16
3 N2語彙 実戦練習UNIT17～23	3 N2語彙 実戦練習UNIT17～23
4 第一回模擬試験	4 N2語彙 実戦練習UNIT33～45
5 N2文法 フォーミングアップ1～4回	5 N2文法 フォーミングアップ1～4回
6 N2文法 UNIT1～4解説	6 N2文法 UNIT1～4解説
7 N2文法 実戦練習一回目	7 N2文法 実戦練習一回目
8 N2文法 UNIT5～6解説	8 N2文法 UNIT5～6解説
9 N2文法 実戦練習二回目	9 N2文法 実戦練習二回目
10 N2文法 UNIT7～8解説	10 N2文法 UNIT7～8解説
11 N2文法 実戦練習三回目	11 N2文法 実戦練習三回目
12 N2読解 実戦練習	12 N2読解 実戦練習
13 N2聴解 実戦練習	13 N2聴解 実戦練習
14 期末試験	14 期末テスト
15 追試予備日	15 追試予備日

教員紹介

担当教員は、新潟大学で日本語学を専攻し、日本語教師の資格も修得した後、大学及び日本語学校で長年の教鞭の経験を持ち、留学生の苦手な文法と読解力を中心に授業を展開し、上級日本語能力を有する実力者の養成に向けた授業を展開する。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
JLPT対策1	1年生	4	ザン	月曜日 2時間目 月曜日 3時間目

概要

日本語能力試験の様々な問題集を利用することで、幅広い場面で使われている日本語の文字・語彙・文法などの知識及び日本語の「読む」「書く」「聞く」「話す」力を身につける。

到達目標

N2、N1レベルの4技能をマスターする。

受講要件

テキスト

プリントを配布します。

評価方法

テスト、授業態度、出席を考慮し、総合的に判定します。

参考書

「日本語能力試験 直前対策」、「ドリル&ドリル 日本語能力試験」、「聴解 スピードマスター」を使用予定。

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 N1、N2 模擬テスト 第1回	1 N1、N2 模擬テスト 第7回
2 N1、N2 聴解練習 課題理解第1、2回	2 N1、N2 聴解練習 概要理解第3、4回
3 N1、N2 読解練習 短文、中文第1回	3 N1、N2 読解練習 統合理解第3、4回
4 N1、N2 模擬テスト 第2回	4 N1、N2 模擬テスト 第8回
5 N1、N2 聴解練習 課題理解第3、4回	5 N1、N2 聴解練習 即時応答第1、2回
6 N1、N2 読解練習 短文、中文第2回	6 N1、N2 読解練習 主張理解第1、2回
7 N1、N2 模擬テスト 第3回	7 N1、N2 模擬テスト 第9回
8 N1、N2 聴解練習 ポイント理解第1、2	8 N1、N2 聴解練習 即時応答第3、4回
9 N1、N2 読解練習 中文第3、4回	9 N1、N2 読解練習 主張理解第3、4回
10 N1、N2 模擬テスト 第4回	10 N1、N2 模擬テスト 第10回
11 N1、N2 聴解練習3、読解練習1	11 N1、N2 聴解練習 統合理解第1、2回
12 N1、N2 模擬テスト 第5回	12 N1、N2 読解練習 情報検索第1、2回
13 N1、N2 聴解練習 ポイント理解第4、5	13 N1、N2 模擬テスト 第11回
14 N1、N2 読解練習 統合理解第1、2回	14 N1、N2 聴解練習 統合理解第3、4回
15 N1、N2 模擬テスト 第6回	15 N1、N2 読解練習 情報検索第3、4回
16 前期の復習	16 前期の復習
17 期末テスト	17 期末テスト
18 追試予備日(読解練習)	18 追試予備日(読解練習)
19 N1、N2 聴解練習 概要理解1、2	19 聴解、読解練習

教員紹介

東京外国語大学大学院博士課程で学び、大学院在学時より日本企業での通訳・翻訳業務を行う。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日本事情	1・2年次	4	高橋	火曜日 2時間目 Dクラス 火曜日 3時間目 Eクラス 水曜日 2時間目 Fクラス 水曜日 3時間目 選択授業

概要

現代日本の特徴に加え、社会で問題になっている事や、その構造的な原因などについて学びます。

到達目標

日本社会で暮らし、仕事をしていく上で最低限の一般常識を身に付ける。

受講要件

授業に積極的に参加する気構えが必要です。

評価方法

テスト結果および出席率で総合的に判定します。

テキスト

担当講師が作成したプリントを配布します。(印刷代を請求します)

参考書

クローズアップ日本事情15

前期		後期	
1	日本ってどんな国？①	1	現代文化とポップカルチャー①
5	日本ってどんな国？②	5	現代文化とポップカルチャー②
	都市の暮らし・地方の暮らし①		スポーツの楽しみ方①
	都市の暮らし・地方の暮らし②		スポーツの楽しみ方②
1	日本の旅を楽しもう①	1	前進を続ける科学技術①
5	日本の旅を楽しもう②	5	前進を続ける科学技術②
	前期中間テスト		後期中間テスト
1	いただきます！①	1	地球のためにできること①
5	いただきます！②	5	地球のためにできること②
	季節を楽しむ年中行事①		教育と子供たち①
	季節を楽しむ年中行事②		教育と子供たち②
	伝統文化体験①		多文化共生社会を目指して①
	伝統文化体験②		多文化共生社会を目指して②
	前期期末テスト		後期期末テスト

教員紹介

担当教員は3年の外国在住経験に加え、ベンチャー系IT企業(株)パワーソリューションズ、複数の大学受験予備校での勤務の後、現在は学習塾を経営しており、企業の求めるグローバル人材像を念頭に置き、経営の実体験に基づいた授業を展開する。

情報ビジネス コミュニケーション学科

2 年次
(日越通訳・翻訳コース)

授業案内 (シラバス)

2019年 情報コミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
英語	2年次	4	島田	クラス:火曜日1限目 クラス:水曜日1. 2限目

概要

英語の基礎的な日常表現を、テキストやリスニングで学習するとともに、仕事に必要な会話練習をする。

到達目標

英語での自己表現ができるようにする。進学、就職に必要な英語力をつける。

受講要件

英語の基本的な知識が必要です。

評価方法

出席日数＋提出物＋定期テスト

テキスト

“SIDE by SIDE” ACTIVITY
WORKBOOK

参考書

“SIDE by SIDE” Textbook, 会話プリントなど

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	基本ボキャブラリーチェック 短い会話	1 5 1 5	テキストL7(場所の表現) 会話ー空港で
	テキストL1 自己紹介 ナンバー		テキストL8(複数、月、曜日) 会話ー病院で
	テキストL2 (Where? What?) 会話 Go Shopping		テキストL9(国名、言語、日常活動)
	テキストL1.L2 テスト 会話 Eating out		テキストL10(その他活動) 会話ーホテルで
	テキストL3 (Doing many things) 電話で予約		テキストL7～L10 まとめ、会話ーオフィスで
	テキストL4 (Doings, いろいろな疑問文) Shightseeing		テキストL11(頻度の表現) 会話表現まとめ
	テキストL5 (まとめ 英作文テスト)		テキストL12(感情表現) 英語でプレゼン①
	テキストL6 英語自己紹介ドラフト		テキストL13(能力、職業) 英語でプレゼン②
	自己紹介練習		テキストL14(予定未来) 英語でプレゼン③
	テキストL3～L6 まとめ		テキストL11～L14 まとめ

教員紹介

担当教員は、英語教員免許を有し、企業での翻訳・通訳の仕事や、海外生活の経験を生かし、広い視野で、社会で使える英語力の習得ができるよう、授業を展開する。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓国語入門	2年生	4	劉	水曜日・3時間目

概要

この授業は、韓国語を初めて勉強する人のための入門授業です。まずは、韓国語の文字－ハングル－を不便なく読み書きできるように練習することからスタートします。ハングルを覚えながら、基本的なあいさつや表現も少しずつ練習していきます。韓国ドラマや映画でフレーズが聞き取れたり、韓国人に韓国語であいさつができるように、楽しく勉強します。

到達目標

ハングルを自由に読み書きできるようになることを第一目標とします。また、日常生活でよく使うあいさつや表現を覚えることを第2目標とします。

受講要件

できる韓国語初級Ⅰ

評価方法

出席率・授業態度・小テスト・期末テスト

※5回以上欠席した学生には、単位を認めません。

テキスト

随時配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 第6課～て
2 ハングルについて 子音	2 第7課～ません
3 子音＋母音	3 第8課 漢字語数詞①
4 母音＋子音激音	4 第9課 漢字語数詞②
5 子音濃音	5 第10課 ～ですね
6 パッチム①	6 第11課 固有語数詞①
7 パッチム②③	7 第12課 固有語数詞②
8 合成母音	8 第13課 ～でした・ました
9 日本語のハングル表記	9 第14課 尊敬語①
10 第1課～は、～です(か)のハングル	10 第15課 尊敬語②
11 第2課～が、～ではありません	11 第16課 尊敬語③
12 第3課～ですの拡大	12 第17課 動詞の不規則活用①
13 第4課 あります・います、ありません・いません	13 第18課 動詞の不規則活用②
14 第5課～にいます・あります	14 第19課 表現 ～ましょうか・ましょう
15 中間テスト	15 期末テスト

教員紹介

中国人の学生やベトナム人の学生向けの韓国語の授業には定評あり。本場の韓国語を学べる授業は支持者が多く、また、私の授業を「面白い」と感じってくれる学生は多い。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
情報処理2	2年次	4	谷口	Aクラス:木曜日2時間目 Bクラス:火曜日1時間目 Cクラス:火曜日2時間目

概要

WordおよびExcelのレベルアップ、PowerPointの基礎を学ぶ

到達目標

ビジネス文書やデータ分析、プレゼンテーションを行えること

受講要件

情報処理Ⅰを履修し、合格していること

評価方法

授業での課題、期末の実技テストおよび年度末で自作品のプレゼンテーション

テキスト

FOM出版 Word2016ドリル
Excel2016 ドリル
PowerPoint2016基礎

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	ワードの基礎演習 総合練習問題	1 5 1 5	VLOOKUP関数
	ビジネス文書について 総合練習問題		商品申込書の作成
	写真、画像、ワードアート等のデザイン		データ利用と集計
	長文、段組みやドロップキャップ		パワーポイント基礎
	図形の応用		表作成
	スマートアラート		グラフ作成
	ポスター、チラシ完成		図形とスマートアート、グラフィック作成
	ラベル、レターの差し込み印刷		画像とワードアートの挿入
	エクセル基礎復習		特殊効果の設定
	複合グラフ		プレゼンテーション

教員紹介

IT企業でプログラミング、システムエンジニアとして勤務。企業向け新入社員教育や求職者支援プログラムでの職業訓練指導経験有。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
通訳演習	2年次	4	ベト	月曜日・4時間目

概要

ビジネスにおいてベトナム学生が苦手なビジネス日本語会話を重点的に練習する。実際にある様々なシチュエーションを通じ、聞く力、話す力を磨き、通訳ならではの(日本語-ベトナム語通訳、ベトナム語-日本語通訳)のスキルを習得する。上記の訓練を通じコミュニケーション能力の向上を図る。

到達目標

将来、実用性の高いシチュエーションを通じて、臨機応変に通訳できるようにする。
また、丁寧なベトナム語、適切な表現を活用できるようにする。

受講要件

N2合格レベル

評価方法

講義全体を100点満点として採点する。中間テスト20点、定期試験30点、授業への態度・出席状況50点から成績評価を行う。なお、出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。

テキスト

参考書

・「BAI DICH MAU NHAT-VIET(日越通訳文書)」
TRI THUC出版社
・「VIETJO新聞」
・「NHK放送」

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	1. 通訳概要&越日通訳実習(やさしいニュース)	1 5 1 5	1. 日越通訳実習(航空会社と観光総局の協力)
	2. 日越通訳実習(ベトナム実習生と病院付き添い)		2. 日越通訳実習(日産事件)
	3. 越日通訳実習(スピーチ通訳)		3. グループディスカッション
	4. 越日通訳実習(引き続き スピーチ通訳)		4. 越日通訳実習(愛知県ベトナム人協会が発足)
	5. グループディスカッション		5. 日越通訳実習(大聖堂火災)
	6. 日越通訳実習(区役所にて住所変更手続き)		6. 越日通訳実習(会社創立記念)
	7. 日越通訳実習(会社訪問・工場見学)		7. グループディスカッション
	8. グループディスカッション		8. 日越通訳実習(日本の新幹線)
	9. 越日通訳実習(ベトナム実習生の窃盗事件)		9. 越日通訳実習(ビジネス交渉・米朝首脳会談)
	10. 越日通訳実習(引き続き ベトナム実習生の窃盗事件)		10. 日越通訳実習(契約締結)
	11. ベトナム文化の紹介(スライド説明)		11. 日越通訳実習(観光案内:浅草)
	12. 中間テスト		12. 期末試験

教員紹介

講師は、ハノイ国立大学で日本学を学び、来日後は事業創造大学院で経営学を専攻。大学院在学中は実習生のサポートのアルバイトをしながらMBAを取得、大学院修了後はベトナム労働・傷病兵・社会問題省副大臣の通訳を担当。日本の公共機関における翻訳業務にも携わっている。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳演習1	2年次	4	ズン	月曜・1時間目(Aクラス) 火曜・1時間目(Cクラス) 火曜・2時間目(Bクラス)

概要

まつり、地理・気候、仕事などの日常生活についてのスピーチ
開会式・閉会式の挨拶
社長、校長の挨拶

到達目標

日本語からベトナム語、ベトナム語から日本語、上記の30分ぐらいの内容を通訳できること。

受講要件

1.ベトナム語母語の日本語学習者
2.翻訳基礎1を習得した学習者

評価方法

筆記試験(総合)
時間:50分

テキスト

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 祭り	1 ・開会式の挨拶 Phát biểu của BGH tại Lễ hội tiếng Nhật (khai mạc)
2 地理・民族・宗教	2 ・閉会式の挨拶 Phát biểu của BGH tại Lễ hội tiếng Nhật (bế mạc)
3 私の仕事	3 ・結婚式新郎のスピーチ
4 観光	4 Phát biểu của Lãnh đạo tỉnh tại Lễ hội hùng biện tiếng Nhật
5 歴史	5 復習
6 私の国と日本との関係	6 駐ベトナム日本特命全権大使の挨拶
7 結婚	7 Phát biểu tại hội nghị về Kiến trúc gỗ truyền thống (P1)
8 産業と貿易	8 Phát biểu tại hội nghị về Kiến trúc gỗ truyền thống (P2)
9 経済と人々の生活	9 練習
10 社会の問題	10 日越の友好関係(P2)
11 習慣の違い	11 Phát biểu của Ủy ban Kinh tế Việt Nhật tại buổi trao tặng học bổng lần thứ 11
12 いやな体験	12 Phát biểu của Ủy ban Kinh tế Việt Nhật tại buổi trao tặng học bổng lần thứ 11
13 Dịch chào hỏi : Làm việc với quỹ giao lưu quốc tế (国際交流基金)	13 日越の友好関係
14 復習	14 復習
15 期末試験	15 期末試験

教員紹介

ゲン・ティ・フォン・ズン

応用言語学専攻 修士号(日本語教育)/日本語教育の経験:12年/応用言語学研究科 博士後期課程 2年

2019年 情報コミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日越ビジネス事情2	2年次	4	昼間	月1時限目 水1時限目 水2時限目

概要

主に経済協力の観点から日越関係の歩みを概観する。実際にどのような企業活動が行われ、どのような人的交流が行われているかを知る。

到達目標

将来的には日越関係における指導者的な立場に立つ人間になるよう、より総合的な認識と判断力を養う。

受講要件

N2程度

評価方法

期末試験 授業への積極的な参加(発言など)

テキスト

『ベトナムの基礎知識』めこん
『現代ベトナムを知るための60章』明石書店

参考書

『早わかり ベトナムビジネス』日刊工業新聞社
『これからのベトナムビジネス』東方通信社 等

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5	日越関係 前史	1 5	ベトナムの貿易の特徴1
	1980年代、三つの変化		ベトナムの貿易の特徴2
	経済協力(ODA中心の)について		ベトナムとASEAN1
	1990年代、国際関係の広がり		ベトナムとASEAN2
	WTO加盟		ベトナムに進出する日本企業1
	海外直接投資から見る日越関係		ベトナムに進出する日本企業2
	90年代から10年代にかけて、三つの傾向		ベトナムに進出する日本企業3
	「中進国の罠」		「戦略的パートナーシップ」(対中)
	日越経済連携協定(EPA)について		「戦略的パートナーシップ」(対米)
	民間交流の歩み		日越関係の今後

教員紹介

担当教員は、フランスでの留学経験とその間に大新聞の支局での勤務経験を有し、帰国後は大学の非常勤講師や出版社の編集職、また日越バイリンガルのコミュニティ新聞の編集職を務める。七度にわたる渡越経験がある。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス知識2	2年次	4	三城	Aクラス:木曜日 1時間目 Bクラス:木曜日 2時間目 Cクラス:金曜日 1時間目

概要

1年次に履修した<ビジネス知識1>の内容を踏まえ、実際の仕事にそったより一層役立つ知識を学ぶ。さらに、
 ①統計・データの読み方、まとめ方
 ②会社数字の読み方
 ③働く上で必要な法律の知識、税金の知識 など学ぶこととする。

到達目標

日本能率協会マネジメントセンターが実施するビジネス能力検定2級に合格する。

受講要件

1年次に<ビジネス知識1>を履修していること。

評価方法

授業に参加する姿勢と、前期と後期終了時に行う試験の点数によって評価する。

テキスト

ビジネス能力検定2級公式テキスト

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 キャリアと仕事へのアプローチ	1 仕事の進め方
2 同上	2 同上
3 会社活動の基本	3 ビジネス文書の基本
4 同上	4 同上
5 話し方と聞き方のポイント	5 統計・データの読み方、まとめ方
6 同上	6 同上
7 接客と営業の進め方	7 情報収集とメディアの活用
8 同上	8 同上
9 不満を信頼に変えるクレーム対応	9 会社数字の読み方
10 同上	10 同上
11 会議への出席とプレゼンテーション	11 ビジネスと法律・税金知識
12 同上	12 同上
13 チームワークと人のネットワーク	13 産業と経済の基礎知識
14 同上	14 同上
15 定期試験	15 定期試験

教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
情報リテラシー	2年次	4	小宅	火曜日 2時間目 Aクラス 木曜日 2時間目 Cクラス 木曜日 3時間目 Bクラス

概要

現代は情報化社会です。本講座では、人から人へ伝えられる「情報」を取り上げ、人がどのように情報に接し、人と人とがどのようにコミュニケーションを行うかを技術的な側面と社会的な側面の両面から学び、なぜそのような仕組みが生まれたかという考え方から情報を取り扱う上で必要な情報セキュリティまで、現代の情報化社会に必要な基礎的な知識を身に着けることを目的とします。

到達目標

情報システムの基礎的な語彙やその意味を理解して、情報化社会で活躍できる知識を身に着けることです。

受講要件

授業に積極的に参加する気構えが必要です。

評価方法

平常点(授業中の学習態度、出席状況)および期末試験。

テキスト

『高校生が教わる「情報社会」の授業が3時間でわかる本』
翔泳社

参考書

『60分でわかる！ITビジネス最前線』(技術評論社)など

授業計画及び学習内容			
前期		後期	
1 5	1. システムの仕組み 情報システムの現状を概観しながら、それらと社会との関わりを理解し、社会へ及ぼす影響について学習する。	1 5	4. 通信の仕組み コミュニケーションを技術的に支える通信の仕組みを整理し、インターネットやウェブがどのように動くのかを理解する。
	2. コミュニケーションの仕組み 情報社会の本質であるコミュニケーションの仕組みについて学習する。		5. セキュリティの仕組み 情報セキュリティについて学び、適切な対応をとるための知識を習得する。
	3. 情報活用の仕組み 情報システムを支える情報技術の基礎を整理し、情報活用への理解を深める。		6. 最新テクノロジーの仕組み 新しい情報通信技術について学習し、今後の新しい技術の展望について予測できるようにする。

教員紹介

担当教員は、約36年間、富士通株式会社に勤務し、主に通信インフラビジネスに従事していた実務経験を基に情報システムの基礎に関する指導を行う。

2019年度 日情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
ビジネス コミュニケーションⅡ	2年生	4	吉永	Aクラス:金曜日2限目 Bクラス:月曜日1限目 Cクラス:金曜日1限目

概要

前期:就職試験の面接試験においてスムーズな対応が出来るようにする。
後期:入社後日本語を使って職場の日本人とのスムーズなコミュニケーションが取れるようにする。

到達目標

ロールプレーやケーススタディなどを通して適切な敬語や授受表現を使い、職場での円滑なコミュニケーションが出来ることを目指す。また、自然な日本語の発音を目指す。

受講要件

N2合格レベル

評価方法

期末試験 50点
ロールプレー評価 40点
授業への参加度(出席率) 10点

テキスト

日本語敬語トレーニング(アスク)
就活・仕事の日本語会話
Shadowing 日本語を話そう

参考書

しごとの日本語ビジネスマナー編(アルク)

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1 5 1 5	* 発音練習 Shadowing「個人面接」	1 5 1 5	* 発音練習 Shadowing 「インターシップ」「社内にて」等々 会社に入ってから各ビジネスシーン
	* 敬語 テキストを使った講義 13課 面接を受ける 8課 意見を言う 9課 予約を受ける 10課 サービスの敬語		* 敬語 テキストを使った講義 11課 相談を受ける 12課 スピーチをする 14課 おわびする
	* 各課 ロールプレー・最終目的は 習った敬語を使った会話 ・ペアで発表(原稿なし)		* 面接指導・個人(授業初めに各自にQ&A)
	* 履歴書の書き方指導 志望動機を中心		* ケーススタディ「報連相」等々
	* 面接指導・個人(態度も含む) ・グループ面接 各希望業種ごとに グループになり活動		* 定期試験 敬語テキストの筆記試験
	* 定期試験 敬語テキストの筆記試験		

教員紹介

担当教員は15年間日本航空客室乗務員として勤務した経験があり、退職後は10年間日本航空の外国人客室乗務員を現地(タイ、シンガポール、香港、ドイツ、イギリス)と日本において日本語指導に携わった。また、並行して主に三菱商事の日本駐在員にも10年間に渡りビジネス日本語の指導経験がある。

2019年度 日越通訳翻訳学コース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
医療コミュニケーション	2年次	4	荒木	金曜日・3時間目

概要

医療関係の業務に就職希望する学生を対象とする授業である。
医療、特に介護に関する用語、介護現場のあらゆる面でのコミュニケーションの基本を学習する。

到達目標

医療、特に介護に関する用語とコミュニケーション技法を習得し、運用できるようにする。

受講要件

N2合格レベル

評価方法

定期試験、宿題提出、出席状況、授業態度

テキスト

参考書

- ・「介護の日本語 基本のことば」スリーエーネットワーク
- ・「介護の日本語 声かけ表現」凡人社

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 診療科別に関する言葉
2 社会保障制度とは	2 内科
3 介護保険制度とは	3 外科・整形外科
4 介護職の職務の理解	4 神経科
5 介護の基本的な考え方	5 小児科
6 介護の専門性	6 産婦人科
7 人権と尊厳の保持&自立支援	7 皮膚科
8 日本の生活の理解	8 耳鼻咽喉科
9 介護におけるコミュニケーション	9 歯科
10 声かけ表現の基本&特別な敬語	10 眼科
11 病気・怪我・病状に関する言葉	11 老化の理解
12 治療に関する言葉	12 認知症の理解
13 こころの仕組み	13 障がいの理解
14 からだの仕組み(体の部位、体の内部)	14 福祉用具
15 期末試験	15 期末試験

教員紹介

ベトナムの医薬大学卒業、日本の大学卒業、日本語学専攻。介護福祉士。
日本語教師、日越越日通訳・翻訳の経験有。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
JLPT対策2	2年生	4	三城	水曜日 3時間目 木曜日 3時間目

概要

日本語能力試験のための学習。学習者のレベルに応じて、N1・N2対策を混ぜて実施。

到達目標

日本語能力試験N2・N1に要求されている語彙・文法・聴解・読解力を身に付け、日本語能力試験N2・N1全般の練習を通して、試験合格を目指す。

受講要件

評価方法

授業に参加する姿勢と、前期と後期終了時に行う試験の点数によって評価する。

テキスト

『20日で合格』シリーズ
『スピードマスター』シリーズ

参考書

日本語能力試験直前対策N1
日本語能力試験直前対策N2

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 『20日で合格』第1日目練習＆解説	1 『20日で合格』第8日目練習＆解説
2 『20日で合格』第1日目復習＆第2日目	2 『20日で合格』第9日目＆第10日目
3 『20日で合格』第2日目解説＆第3日目	3 『20日で合格』第11日目＆第12日目
4 『20日で合格』1～3日目復習	4 『20日で合格』8～12日目復習
5 第一回模擬試験	5 第一回模擬試験
6 『20日で合格』第4日目練習＆解説	6 『20日で合格』第13日目＆第14日目
7 『20日で合格』第5日目練習＆解説	7 『20日で合格』第15日目＆第16日目
8 『20日で合格』第6日目練習＆解説	8 『20日で合格』第17日目＆第18日目
9 『20日で合格』4～6日目復習＆第7日目	9 『20日で合格』13～18日目復習＆第19日目
10 『20日で合格』第7日目解説＆読解練習	10 『20日で合格』第20日目解説＆読解練習
11 『スピードマスター』聴解練習	11 『スピードマスター』聴解練習
12 能力試験練習問題実戦演習	12 能力試験練習問題実戦演習
13 能力試験練習問題解説＆弱点復習	13 能力試験練習問題解説＆弱点復習
14 期末テスト	14 期末テスト
15 追試予備日	15 追試予備日

教員紹介

元関西電力エンジニアリング技術部長。東京外国語大学、早稲田大学、城西国際大学での講演、講義。現在LEOCグループ顧問、ASEAN人材教育支援機構理事として海外、国内での実務経験を活かして受講生に問題をわかりやすく理解させる。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
就職対策	2年生(前期)	2	山下/佐々木	木曜日 3時間目

概要

就職対策全般(特に面接を中心に)

到達目標

自信を持って就職活動に挑めるための知識とノウハウを身につける

受講要件

評価方法

適宜レポート提出・実技テスト、出席率など総合的に
勘案する

テキスト

未定

参考書

外国人留学生のための就活ガイド2020

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション、講師・生徒自己紹介	1
2 自己紹介シート(自己分析)作成	2
3 自己紹介発表練習	3
4 日本への留学理由シート作成	4
5 日本への留学理由発表練習	5
6 6月27日の就職面接会諸留意事項	6
7 面接対策	7
8 グループディスカッション対策	8
9 グループディスカッション実技練習	9
10 グループ面接対策	10
11 グループ面接実技練習	11
12 個人面接対策	12
13 個人面接実技練習	13
14 期末試験	14
15 追試・全体総括	15

教員紹介

総合商社三菱商事(株)人事部で採用・研修業務が長く、採用の責任者も経験。中国副総代表として北京在勤時は全土の人事関係の責任者。定年後は人材派遣会社の顧問を担当。日本女子大学リカレント課程・東京理科大学・日本大学などで就職面接指導講師を担当。就活生へのアドバイザーもしている。

2019年度 情報ビジネスコミュニケーション学科 授業一覧

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
中国語入門	1・2年次	4	李	火曜日・3時間目
翻訳基礎1	1年次	4	ズン	月曜・2時間目(Dクラス) 金曜・1時間目(Eクラス) 金曜・2時間目(Fクラス)
翻訳基礎2	1年次	4	荒木	Dクラス:木曜日2時間目 Fクラス:木曜日3時間目 Eクラス:木曜日1時間目
ビジネス知識1	1年次	4	三城	Dクラス:水曜日・1時間目 Eクラス:水曜日・2時間目 Fクラス:金曜日・2時間目
ビジネス コミュニケーションⅠ	1年生	4	吉永	Dクラス:水曜日1限目 Eクラス:月曜日2限目 Fクラス:水曜日2限目
ビジネス会話	1年次	4	池添	Dクラス:火曜日1時間目 Fクラス:火曜日2時間目 Eクラス:火曜日3時間目
ビジネス能力 検定対策	1・2年次	4	三城	1年生:木曜日4時間目 2年生:金曜日3時間目
情報処理1	1年次	4	谷口	Dクラス:火曜日3時間目 Eクラス:木曜日1時間目 Fクラス:木曜日3時間目
文法・読解 (上級日本語)	1年次	4	宮田	月曜日 1時間目 月曜日 2時間目 月曜日 3時間目 火曜日 2時間目 水曜日 3時間目
JLPT対策1	1年次	4	ズン	水曜日・6時間目
日本事情	1・2年次	4	高橋	火曜日 2時間目 Dクラス 火曜日 3時間目 Eクラス 水曜日 2時間目 Fクラス 水曜日 3時間目 選択授業
英語	2年次	4	島田	Aクラス:火曜日1限目 Bクラス:水曜日2限目 Cクラス:水曜日1限目
韓国語入門	2年生	4	劉	水曜日・3時間目
情報処理2	2年次	4	谷口	Aクラス:木曜日2時間目 Bクラス:火曜日1時間目 Cクラス:火曜日2時間目
通訳演習	2年次	4	ベト	月曜日・4時間目

翻訳演習1	2年次	4	ズン	月曜・1時間目(Aクラス) 火曜・1時間目(Cクラス) 火曜・2時間目(Bクラス)
日越ビジネス事情	2年次	4	昼間	月1時限目 水1時限目 水2時限目
ビジネス知識2	2年次	4	三城	Aクラス:木曜日 1時間目 Bクラス:木曜日 2時間目 Cクラス:金曜日 1時間目
情報リテラシー	2年次	4	小宅	火曜日 2時間目 Aクラス 木曜日 2時間目 Cクラス 木曜日 3時間目 Bクラス
ビジネス コミュニケーションⅡ	2年生	4	吉永	Aクラス:金曜日2限目 Bクラス:月曜日1限目 Cクラス:金曜日1限目
医療コミュニケーション	2年次	4	荒木	金曜日・3時間目
JLPT対策2	2年次	4	三城	水曜日・7時間目
就職対策	2年次 (前期)	2	山下／佐々木	木曜日 3時間目